

「子どもにツケをまわさない」講演会
アンケート結果報告書

開催日時:2012年6月28日(木)18:30~

会場:名古屋市北文化小劇場

1 アンケート回答者について

講演会参加者約180名に対してアンケートを実施。その内、83名よりアンケートの回答を得た。男女比および年齢構成については以下の通りである。

	20歳未満	20代	30代	40代	50代	60歳以上	NA	合計
男性	0 -	0 -	2 5.13%	6 15.38%	5 12.82%	25 64.10%	1 2.56%	39 100.00%
女性	0 -	0 -	0 -	4 9.09%	5 11.36%	35 79.55%	0 -	44 100.00%
男女計	0 -	0 -	2 2.41%	10 12.05%	10 12.05%	60 72.29%	1 1.20%	83 100.00%

当日、会場には放射能の影響をより受けやすい小さな子どもを連れた30歳代の女性の姿も多く見られたが、アンケートに答えられていないことは残念である。

2 講演会のテーマについて

「子どもにツケをまわさない」をテーマに、中部大学教授・武田邦彦先生を招いて「放射能と原発のこれから」について講演会を実施。85%の参加者から良いとの評価を得た。

	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	NA	合計
男性	19 48.72%	18 46.15%	0 -	0 -	0 -	2 5.13%	39 100.00%
女性	22 50.00%	11 25.00%	1 2.27%	1 2.27%	0 -	9 20.45%	44 100.00%
男女計	41 49.40%	29 34.94%	1 1.20%	1 1.20%	0 -	11 13.25%	83 100.00%

講演会テーマを評価した男性が95%であったのに対して、女性の20割の参加者からは回答を得られなかった。

3 講演会の内容について

講演会の内容については、80%の参加者から良いとの回答を得た。福島第一原発事故後であり、原発の安全性に対する不信や放射能汚染に対する不安が、講演会の内容の高評価につながったものと考えられる。

	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	NA	合計
男性	19 48.72%	15 38.46%	1 2.56%	0 -	0 -	4 10.26%	39 100.00%
女性	20 45.45%	13 29.55%	1 2.27%	0 -	0 -	10 22.73%	44 100.00%
男女計	39 46.99%	28 33.73%	2 2.41%	0 -	0 -	14 16.87%	83 100.00%

講演会テーマ同様、20%強の女性参加者から回答を得られなかったのは残念である。

4 原子力発電所の是非について

原子力発電所の是非について、講演会前と講演およびパネルディスカッション後の意見・考えの変化を尋ねた。「どちらかと言えば反対」から「反対」へと、反対意向がより「明確になった参加者が若干あったが、講演会前後で大きな変化はなかった。

■講演前

	反対	どちらかと言えば反対	どちらかと言えば賛成	賛成	分からない	NA	合計
男性	22 56.41%	11 28.21%	3 7.69%	2 5.13%	1 2.56%	0 -	39 100.00%
女性	27 61.36%	8 18.18%	0 -	1 2.27%	4 9.09%	4 9.09%	44 100.00%
男女計	49 59.04%	19 22.89%	3 3.61%	3 3.61%	5 6.02%	4 4.82%	83 100.00%

■講演後

	反対	どちらかと言えば反対	どちらかと言えば賛成	賛成	分からない	NA	合計
男性	23 58.97%	9 23.08%	2 5.13%	2 5.13%	0 -	3 7.69%	39 100.00%
女性	31 70.45%	5 11.36%	0 -	1 2.27%	2 4.55%	5 11.36%	44 100.00%
男女計	54 65.06%	14 16.87%	2 2.41%	3 3.61%	2 2.41%	8 9.64%	83 100.00%

全体として80%強の参加者が反対の意向を示した一方で、男性では約10%が賛成であった。また、女性の20割弱の人が「分からない」または「NA」で、是非を決めかねている様子が伺える。

5 ガレキ受入れの是非について

東日本大震災で発生したガレキ受入れ・処理の是非についてアンケートを行った。講演前は、男性では被災地支援の立場もあり賛成・反対意向が拮抗していたが、講演後はガレキ処理に伴う費用問題および放射性物質の分散化危惧から、反対に転じた参加者が多く見られた。女性においても男性ほどではないが同様の傾向であった。こうした背景には、行政・マスコミの情報発信面の偏りなどがあると考えられる。

■講演前

	反対	どちらかと言えば反対	どちらかと言えば賛成	賛成	分からない	NA	合計
男性	8 20.51%	13 33.33%	9 23.08%	8 20.51%	1 2.56%	0 -	39 100.00%
女性	14 31.82%	12 27.27%	8 18.18%	1 2.27%	7 15.91%	2 4.55%	44 100.00%
男女計	22 26.51%	25 30.12%	17 20.48%	9 10.84%	8 9.64%	2 2.41%	83 100.00%

■講演後

	反対	どちらかと言えば反対	どちらかと言えば賛成	賛成	分からない	NA	合計
男性	17 43.59%	8 20.51%	5 12.82%	6 15.38%	3 7.69%	0 -	39 100.00%
女性	23 52.27%	8 18.18%	2 4.55%	2 4.55%	7 15.91%	2 4.55%	44 100.00%
男女計	40 48.19%	16 19.28%	7 8.43%	8 9.64%	10 12.05%	2 2.41%	83 100.00%

6 講師について

講師の武田邦彦先生については内容・話し方、それぞれに高い評価を得られた。

■講師について

	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	NA	合計
男性	24 61.54%	11 28.21%	0 0.00%	0 0.00%	0 0.00%	4 -	39 100.00%
女性	25 56.82%	15 34.09%	2 4.55%	0 0.00%	0 0.00%	2 4.55%	44 100.00%
男女計	49 59.04%	26 31.33%	2 2.41%	0 0.00%	0 0.00%	6 7.23%	83 100.00%

■内容について

	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	NA	合計
男性	22 56.41%	12 30.77%	1 2.56%	0 -	0 -	4 10.26%	39 100.00%
女性	25 56.82%	13 29.55%	2 4.55%	0 -	0 -	4 9.09%	44 100.00%
男女計	47 56.63%	25 30.12%	3 3.61%	0 -	0 -	8 9.64%	83 100.00%

■話し方について

	大変良い	良い	普通	悪い	非常に悪い	NA	合計
男性	24 61.54%	11 28.21%	0 -	0 -	0 -	4 10.26%	39 100.00%
女性	25 56.82%	15 34.09%	2 4.55%	0 -	0 -	2 4.55%	44 100.00%
男女計	49 59.04%	26 31.33%	2 2.41%	0 -	0 -	6 7.23%	83 100.00%

7 参加者のフリーメッセージ

■原発について

- ・反対するには代替エネルギーを考える必要がある。(50代女性)
- ・しっかりと考えるよい機会になりました。(50代女性)
- ・子どもたちのためにも、これ以上使用済み核燃料を増やさないで(30代女性)
- ・自然エネルギーに対する考えが変わった。これまではエネルギーを補うものと考えていた。(60代男性)
- ・天然資源が1000年以上もあるなんて今まで知らなかった。(60代男性)
- ・原発をコントロールできる技術開発ができるまで原発ストップ。(50代男性)

■ガレキ処理受入について

- ・日本人は日本全体でガレキ処理を受け入れる必要がある。(50代女性)
- ・ガレキ受入れは放射能の拡散につながると分かったから賛成から反対に。(60代女性)
- ・放射能が移動するだけで、なくなるものではないことが分かった。(60代男性)
- ・現地で処理施設を建設し処理を。コスト減と雇用増が図れる。(60代男性)
- ・真実不明。日本国民は本当のことを知らされていない。(50代男性)
- ・他の先生の話も聞きたくなった。(60代男性)

■講演会テーマ等について

- ・老人のことも力を入れてください。(60代女性)
- ・1時間では不十分。テーマをもっと深めた講演をお願いします。(60代女性)
- ・子どもたちの将来のために、日常生活をどのようにすれば良いのか。(60代女性)
- ・食の安全(農薬・トランス脂肪酸・食品添加物など)(30代女性)
- ・子育て環境(子どもを安心して育てられる地域社会)をテーマに講演会をお願いします。(60代女性)
- ・日本(地域)の伝統文化を守る・自然保護・里山保全をテーマに。(60代男性)
- ・環境と経済は相反すると思っていたが、両立するものであることが分かった。(60代男性)
- ・汚染の進捗状況の追求とフォローを。(60代男性)
- ・県、市の借金をいかに減らすかについて講演会を。(50代男性)
- ・生活保護費と最低年金の矛盾。(50代男性)
- ・国の借金問題。(40代男性)
- ・パネルディスカッションは不要では？(30代男性)